



A2LA 認定校正(認定番号：2127.01)

ANSI C63.5-2006 規格の校正が可能となりました！！

FCC ANSI C63.4-2009 によるエミッション測定対応

⇒ 2つの校正サービスが選択できます。

1. LAB. Support 出張校正サービス

LAB. Support の技術者が、御社のサイトにて A2LA 認定校正を行います。

2. LAB. Support 引取校正サービス

お客様の機材を、御社のサイトまで引取に伺います。

(パイログアンテナ等特殊形状の機材については、事前にお問い合わせ下さい。)

LAB. Support 指定校正設備にて A2LA 認定校正を行います。

⇒ アンテナ校正は規格要求に対応した4つの方法から選択できます。

＊FCC ANSI C63.4-2003 によるエミッション試験

1. ANSI C63.5 Standard Site Method (SSM) 3アンテナ法

又は

2. ANSI C63.5 Reference Antenna Method (RAM) 基準アンテナ法

＊車載電装品 CISPR25 ALSE 法によるエミッション試験

3. SAE ARP958

＊VCCI によるエミッション試験

4. VCCI V-3、V-10 (TELEC 校正基準ダイポールアンテナ使用)

いずれの校正証明書にも、A2LAのシンボルマークが表示されます。





A2LA 認定校正(認定番号：2127.01)

< A2LA認定 校正項目 >

1. アンテナファクター 20MHz～26GHz

校正規格： ANSI C63.5 Standard Site Method (SSM) 3アンテナ法 又は
Reference Antenna Method (RAM) 基準アンテナ法

<校正条件： 3m距離／10m距離(*ホーンアンテナを除く), 垂直偏波／水平偏波,任意高さ>

SAE ARP958

<校正条件： 1m距離 垂直偏波(水平偏波) 3m高さ>

VCCI V-3, V-10 (周波数範囲：30～1000MHz NSA 指定ポイント)

<校正条件： 10m距離 水平偏波 2m高さ>

対象アンテナ： バイコニカルアンテナ, ログペリオデックアンテナ, ホーンアンテナ, バイログアンテナ, ダイポールアンテナ

2. アンテナファクター 9kHz～50MHz

校正規格： SAE ARP958 等価キャパシタンス法

対象アンテナ： モノポールアンテナ

3. サイトアッテネーション 30MHz～1GHz

校正規格： ANSI C63.4, CISPR16-1, VCCI V-3

<校正条件： 3m／10m距離>

4. RFインサーションロス 9kHz～26.5GHz

LISN(AMN)ーアイソレーション・ボルトテージデビジョンファクター

150-50Ωアダプタ, CDN, EM クランプ, カレントクランプ, インジエクシオンプローブ

アッテネータ, プリアンプ, ESD ターゲット, RF ケーブルロス等

5. インピーダンス／フェーズアングル 100kHz～1.8GHz

LISN(AMN), CDN, ESD ターゲット, 50 オーム終端器

6. リフレクションコンフィシエント／V SWR 100kHz～1.8GHz

7. LISN (AMN) シーリース電圧降下 300VAC

<その他校正項目>

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 静電気試験機 | IEC61000-4-2 接触放電特性 |
| 2. EFT/バースト試験機 | IEC61000-4-4 バースト特性 |
| 3. サージ試験機 | IEC61000-4-5 サージ特性 |
| 4. EMI レシーバー | CISPR16-1-1, ANSI C63.2 |
| 5. スpektrumアナライザー | ANSI C63.2 |
| 6. 信号発生器 | ANSI C63.2 |
| 7. 電界センサー | |

*LAB. Support としては、A2LA 認定範囲外校正項目ですが、他認定校正機関による代行校正となります。



A2LA 認定校正(認定番号：2127.01)

<出張校正サービスの特徴>

1. 日本国内ではLAB. Supportだけがアンテナファクター/NSAのA2LA認定現場校正サービスが可能です。
2. LAB. Supportの校正サービスは、休日、夜間を問いません。
3. お客様保有の標準機材を使用することも可能です。
*但し、LAB. Support 認定要件に準じたトレーサビリティ証明がされた標準機材に限ります。
4. 現場での不確かさ算出を行います。
5. A2LAシンボルマーク付き正証明書を発行します。

<出張校正サービスのメリット>

1. 校正期間中に試験を中止する必要がなくなります。
2. 社外校正に対する面倒な手続き梱包等が不要となります。
3. 校正費用が大幅に削減できます。

<出張校正サービス費用>

1日(8時間以内) 270,000円 (超過時間料金 33,000円/1時間)

交通費、宿泊費、機材輸送費などの諸経費が生じる場合は別途実費請求

<引取校正サービス費用>

料金表がございますので、別途お問い合わせ下さい。



A2LA 認定校正(認定番号：2127.01)

<出張校正サービス 概略費用見積例>

1. アンテナ校正 (ネットワークアナライザー使用の場合)

- ・バイコニカルアンテナ 3本
- ・ログペリオデックアンテナ 3本 合計6本
- ・不確かさ算出測定

1日(8時間)作業 270,000円

(参考) 社外校正の場合 88,000円×6本=528,000円 + 約1週間サイト業務を停止

2. サイトアッテネーション 30MHz-1GHz V1m, V1.5m, H1m, H2m

(10m電波暗室、ネットワークアナライザー使用の場合)

- ・セットアップ
- ・3m距離 前、後、右、左、中央 5ヶ所
- ・10m距離 前、後、右、左、中央 5ヶ所
- ・不確かさ算出測定

1日(8時間)作業+2時間超過作業 336,000円

(参考) 他社でNSA(上記パターン)を実施した場合 2日間 約50万円

3. 8時間以内で可能な校正項目 (いずれかの各項目)

- ・アンテナの場合 6本以上
- ・LISNの場合 4台くらい
- ・CDN類の場合 6台くらい
- ・静電気試験機 1台 及び EFT/バースト試験機 1台
- ・サージ試験機 1台
- ・磁界試験機 1台
- ・デップ試験機 1台

※ 上記台数は目安です。組み合わせは自由です。

株式会社ラボ・サポート 丸山 隆資

TEL: 090-3093-5996

FAX: 0263-77-6696

E-mail: takashi@anc-tv.ne.jp